

『プレハビリテーションにおける 術前栄養介入による体組成への影響』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	手術前にリハビリテーションを行う方が栄養剤の飲用と栄養指導により、体重や握力、筋肉量の増加に効果があるか検証することを目的とします。
研究の方法	手術前のリハビリテーションを行い栄養剤の飲用が出来た患者（栄養介入群）と、手術前のリハビリテーションのみで栄養剤の飲用を行わなかった群（非栄養介入群）に分け、2群間の体重、握力、筋肉量および栄養評価項目を電子カルテより抽出し、比較検討します。 また、手術後のクリニカルパスの逸脱や合併症の有無、及び重症合併症の有無を調査します。
対象者	西暦2019年6月1日～2022年12月31日の間に、当院患者支援センターを受診し、手術前に外部リハビリテーション施設（メディカルフィットネスAAA、及びメディカルフィットネスにこっと）へ紹介と当院患者支援センターで体液量測定を手術前に二度測定した方。
利用する試料/情報	情報：性別、年齢、紹介先施設、紹介先施設への通院回数（リハビリの回数） 現病歴、予定術式、栄養介入の有無、患者支援センター受診日（1回目、2回目）、入院日数、術後合併症の有無、重症合併症の有無、転帰 白血球数、リンパ球数、アルブミン、総コレステロール 身長、体重、BMI、握力、SMI、位相角
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録からの情報を使用
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当無し
結果公表	日本外科代謝・栄養学会第60回学術集会で発表予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2023年6月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 栄養部/管理栄養士/大沢優也
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 栄養部/工藤雄洋